

東北地方 3 か月予報

(1 0 月から 1 2 月までの天候見通し)

平成 2 0 年 9 月 2 5 日
仙台管区气象台発表

< 予想される向こう 3 か月の天候 >

向こう 3 か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
気温は、平年並または高い確率がともに 4 0 % です。

1 0 月 天気は数日の周期で変わるでしょう。
気温は、平年並または高い確率がともに 4 0 % です。

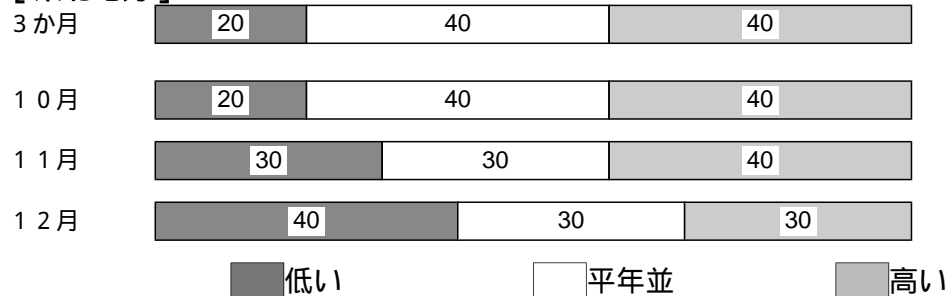
1 1 月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

1 2 月 東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

< 向こう 3 か月の気温、降水量の各階級の確率 (%) >

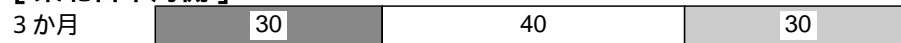
< 気温 >

[東北地方]

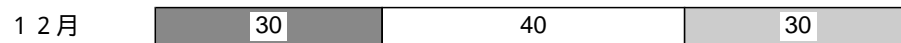
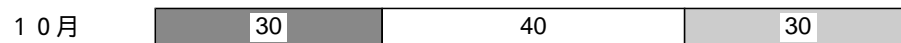





< < 降水量 > >

[東北日本海側]



[東北太平洋側]



 少ない  平年並  多い

< 次回発表予定等 >

1 か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は9月26日

3 か月予報：10月23日（木） 14時

10月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）平年値（月・３か月平均気温、降水量、日照時間）

	気 温 ()				降 水 量(mm)				日照時間(時間)			
	１０月	１１月	１２月	１０月～１２月	１０月	１１月	１２月	１０月～１２月	１０月	１１月	１２月	１０月～１２月
青森	12.6	6.4	1.3	6.8	106.0	131.7	148.6	386.2	152.9	91.4	54.7	299.0
深浦	13.3	7.5	2.5	7.8	165.6	147.2	126.2	438.9	135.3	71.4	34.3	241.0
むつ	12.2	6.3	1.2	6.6	115.4	115.4	93.3	324.0	159.9	106.5	73.7	340.1
八戸	12.7	6.6	1.6	7.0	77.0	61.2	41.7	179.9	163.1	136.5	128.4	428.0
秋田	13.6	7.6	2.8	8.0	160.7	183.5	163.8	508.0	148.1	84.7	47.6	280.4
盛岡	11.8	5.7	0.8	6.1	97.8	93.1	64.5	255.4	149.0	118.8	104.4	372.2
大船渡	13.8	8.2	3.5	8.5	142.3	104.5	36.9	283.7	146.9	139.5	139.6	426.0
宮古	13.1	7.7	3.0	8.0	105.7	85.6	39.9	236.2	155.8	146.3	151.6	453.7
仙台	14.8	9.1	4.3	9.4	99.2	66.8	26.4	192.4	151.8	140.2	144.7	436.7
石巻	14.2	8.3	3.4	8.6	104.1	65.1	24.8	194.0	159.7	149.3	155.4	464.4
山形	13.2	7.2	2.4	7.6	76.0	80.8	77.2	234.0	131.1	99.6	85.1	315.8
新庄	12.3	6.2	1.4	6.6	151.9	195.4	210.9	558.2	103.6	62.1	37.3	203.0
酒田	14.7	9.0	4.3	9.3	173.7	223.9	201.9	602.2	143.1	80.4	44.8	268.3
福島	14.8	9.0	4.2	9.3	95.3	63.4	32.5	191.1	139.3	130.6	130.7	400.6
若松	13.2	7.0	1.9	7.4	77.6	73.3	83.3	234.1	119.9	88.3	72.0	280.3
白河	13.2	7.6	2.7	7.8	111.9	65.0	25.0	201.9	144.2	146.4	157.8	448.5
小名浜	16.1	10.8	6.1	11.0	153.1	87.7	35.0	275.8	155.3	160.2	184.8	500.3

欠測により平年値を求めるための資料年数（観測値のある年数）が各月毎に異なることなどにより、３か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

（２）1971～2000年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要 素	予報対象地域	１０月	１１月	１２月	１０月～１２月
気温平年差()	東北地方	-0.6 ～ +0.3	-0.3 ～ +0.5	-0.3 ～ +0.5	-0.3 ～ +0.5
	東北日本海側	-0.6 ～ +0.4	-0.3 ～ +0.5	-0.2 ～ +0.6	-0.3 ～ +0.5
	東北太平洋側	-0.4 ～ +0.3	-0.3 ～ +0.6	-0.1 ～ +0.5	-0.3 ～ +0.5
降水量平年比(%)	東北地方	83 ～ 105	80 ～ 107	80 ～ 107	90 ～ 106
	東北日本海側	88 ～ 107	92 ～ 103	88 ～ 106	90 ～ 110
	東北太平洋側	63 ～ 113	68 ～ 111	69 ～ 116	87 ～ 103
日照時間平年比(%)	東北地方	97 ～ 103	96 ～ 106	97 ～ 103	99 ～ 102
	東北日本海側	97 ～ 101	95 ～ 106	90 ～ 107	98 ～ 105
	東北太平洋側	99 ～ 106	95 ～ 105	99 ～ 103	98 ～ 103

（３）接近する台風の平年値

	１０月	１１月	１２月
東北地方	0.3	0.0	0.0

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の３つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10％以下や60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。

東北地方 3 か月予報解説資料 (10~12 月)

平成 20 年 9 月 25 日 仙台管区气象台

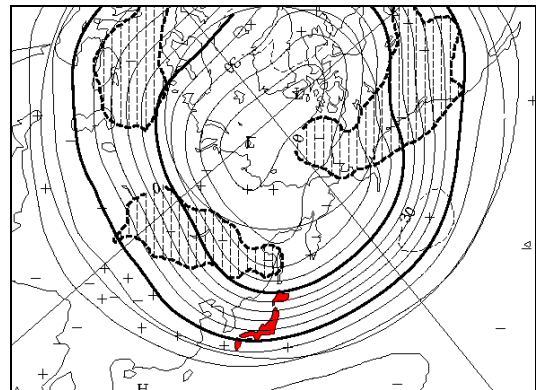
1. 向こう 3 か月の確率予報の特徴

	気温	降水量
10~12 月	平年並または高い確率がともに 40%	各階級の確率の偏りは小さい
10 月:	平年並または高い確率がともに 40%	各階級の確率の偏りは小さい
11 月:	各階級の確率の偏りは小さい	各階級の確率の偏りは小さい
12 月:	各階級の確率の偏りは小さい	各階級の確率の偏りは小さい

2. 数値予報 (アンサンブル予報) による大気の流れの予想

3 か月平均の 500hPa 高度と偏差の予想図 (右図):

予想図では、日本を含む中緯度帯は帯状に正偏差 (平年より高度が高く、暖気に対応) となる。東北地方の 3 か月平均気温は高めの傾向が予想される。



3 か月平均の 500hPa 高度と偏差の予想図

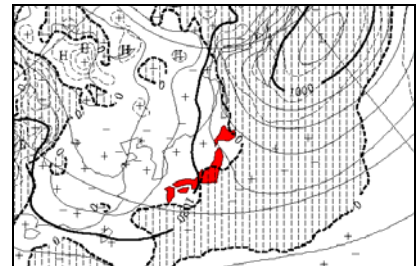
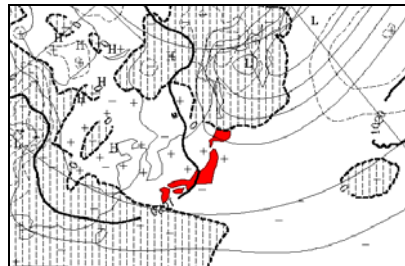
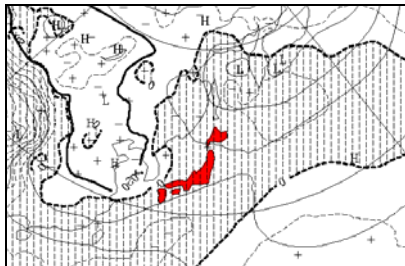
実線は等高度線 60m 毎、点線は偏差 30m 毎
陰影部は負偏差 (一般に寒気に対応)

月別の地上気圧と偏差の予想図 (下図):

10 月: 日本付近は負偏差で平年に比べ日本付近で高気圧が弱く、南からの暖湿流もやや入りやすい。東北地方の天気は数日の周期で変わる見込み。

11 月: アリューシヤンの低気圧は平年より西 (カムチャツカ半島付近) で強いが、日本付近は東西に高圧部となる予想。一時的に寒気の影響を受ける可能性があるが、長続きしない見込み。南からの暖湿流が入りやすく、東北太平洋側を中心に多雨傾向が予想される。

12 月: アリューシヤンの低気圧、大陸の高気圧ともに平年より強く、北日本中心に冬型の気圧配置となる日が多い予想。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込み。



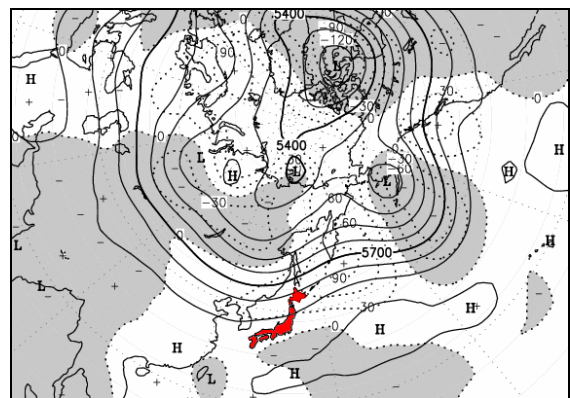
月別の地上気圧と偏差の予想図 (左から 10 月、11 月、12 月)

実線は等圧線 4hPa 毎、点線は偏差 1hPa 毎、陰影部は負偏差

3. 今月の循環場の特徴

9 月 (20 日まで): 500hPa 高度では、バイカル湖付近やアリューシヤンの南、日本の南東海上が負偏差となったが、カムチャツカ半島付近は正偏差となり、日本付近も東西にのびる正偏差におおわれた。

東北地方は低気圧や上空の寒気の影響により曇りや雨となり、局地的に大雨となる日もあったが、期間をとおして高気圧におおわれ晴れて気温の高い日が多かった。



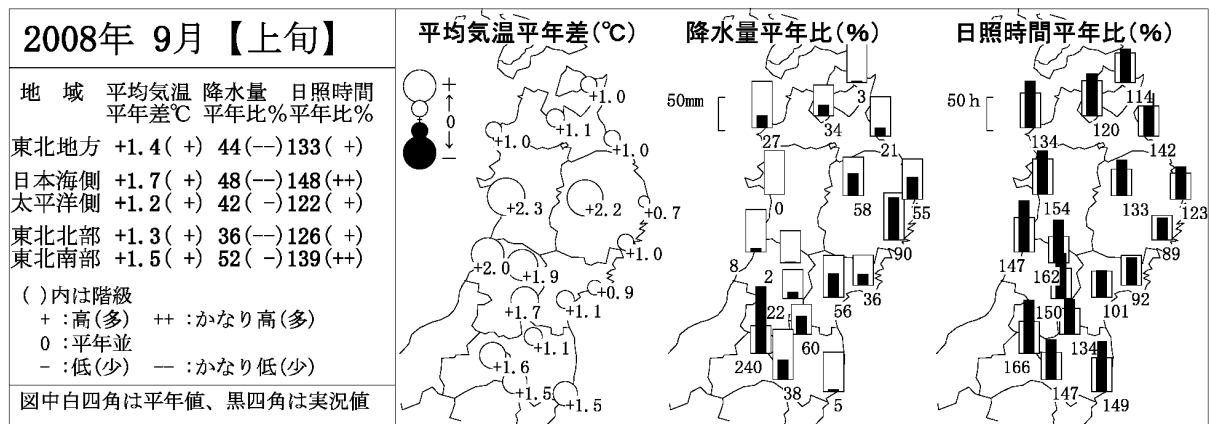
9 月 1 日 ~ 20 日の平均 500hPa 高度

実線は等高度線 60m 毎、点線は偏差 30m 毎、陰影部は負偏差

4. 最近の天候経過

9月上旬:3日と6日から7日にかけては前線や気圧の谷の通過により曇りや雨となり、山形県、宮城県、福島県では浸水害などが発生した。その他の日は、東北日本海側では高気圧におおわれて晴れる日が多かった。東北太平洋側では期間の中頃までは湿った東よりの風の影響で曇りの日が多かったが、期間の終わりは高気圧におおわれておおむね晴れた。

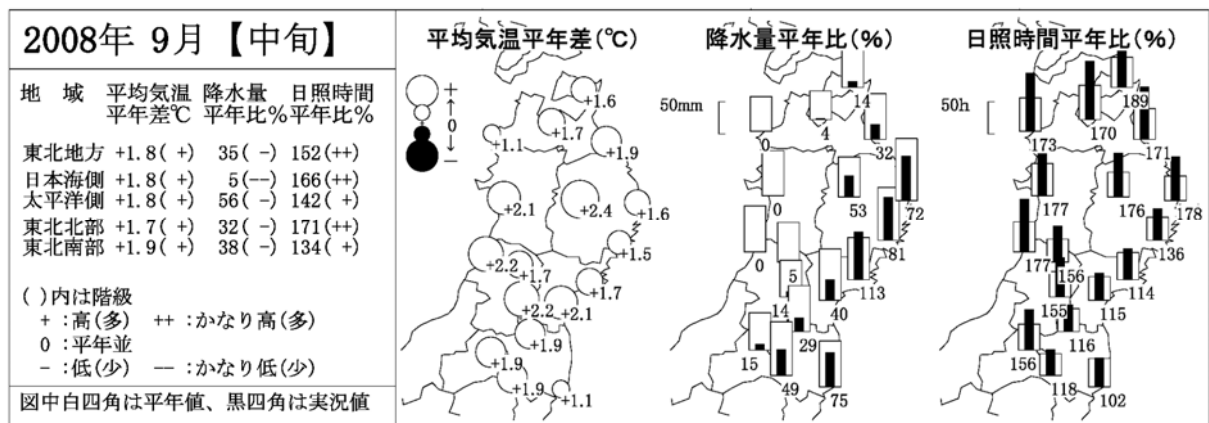
平均気温は東北地方で高い。降水量は東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。日照時間は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で多い。



東北地方における9月上旬の平均気温、降水量、日照時間平年差(比)

9月中旬:期間のはじめは熱帯低気圧や上空の寒気の影響により曇りや雨となり、12日には岩手県で浸水害などが発生した。その後は移動性高気圧におおわれて晴れる日が多かった。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北北部でかなり多く、東北南部で多い。

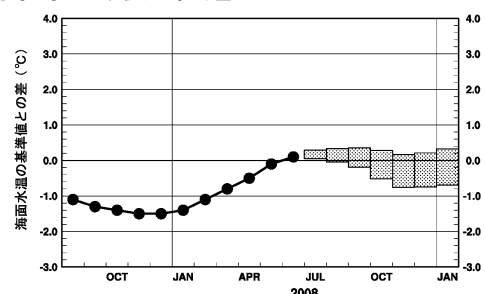


東北地方における9月中旬の平均気温、降水量、日照時間平年差(比)

5. 太平洋赤道域の海水温等の状況、及びエルニーニョ現象等の今後の見通し

太平洋赤道域の海面水温は、西部と東部で正偏差が見られ、中部では負偏差が持続した。海洋表層(海面から深度数百mまでの領域)の水温は、西部と東部で正偏差、中部で負偏差だった。

エルニーニョ監視海域の海面水温は、今後基準値に近い値で推移すると予測される。今後冬にかけてエルニーニョ現象あるいはラニーニャ現象が発生する可能性は低い。



エルニーニョ監視海域の海面水温の基準値との差の推移(折れ線グラフ)と今後の予測(ボックス)

<参考資料>

平年の天気出現日数(日)

	10月		11月		12月	
	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側
晴れの日	14.8	17.6	9.2	17.7	5.4	18.7
雨の日	13.0	8.8	15.8	8.1	19.1	6.6

晴れの日、雨の日は、それぞれ「日照率40%以上の日数」、「日降水量1mm以上の日数」を用いている。